

サービス産業活動図表集

平成28年8月の第3次産業活動指数の状況

平成28年10月13日

URL:<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

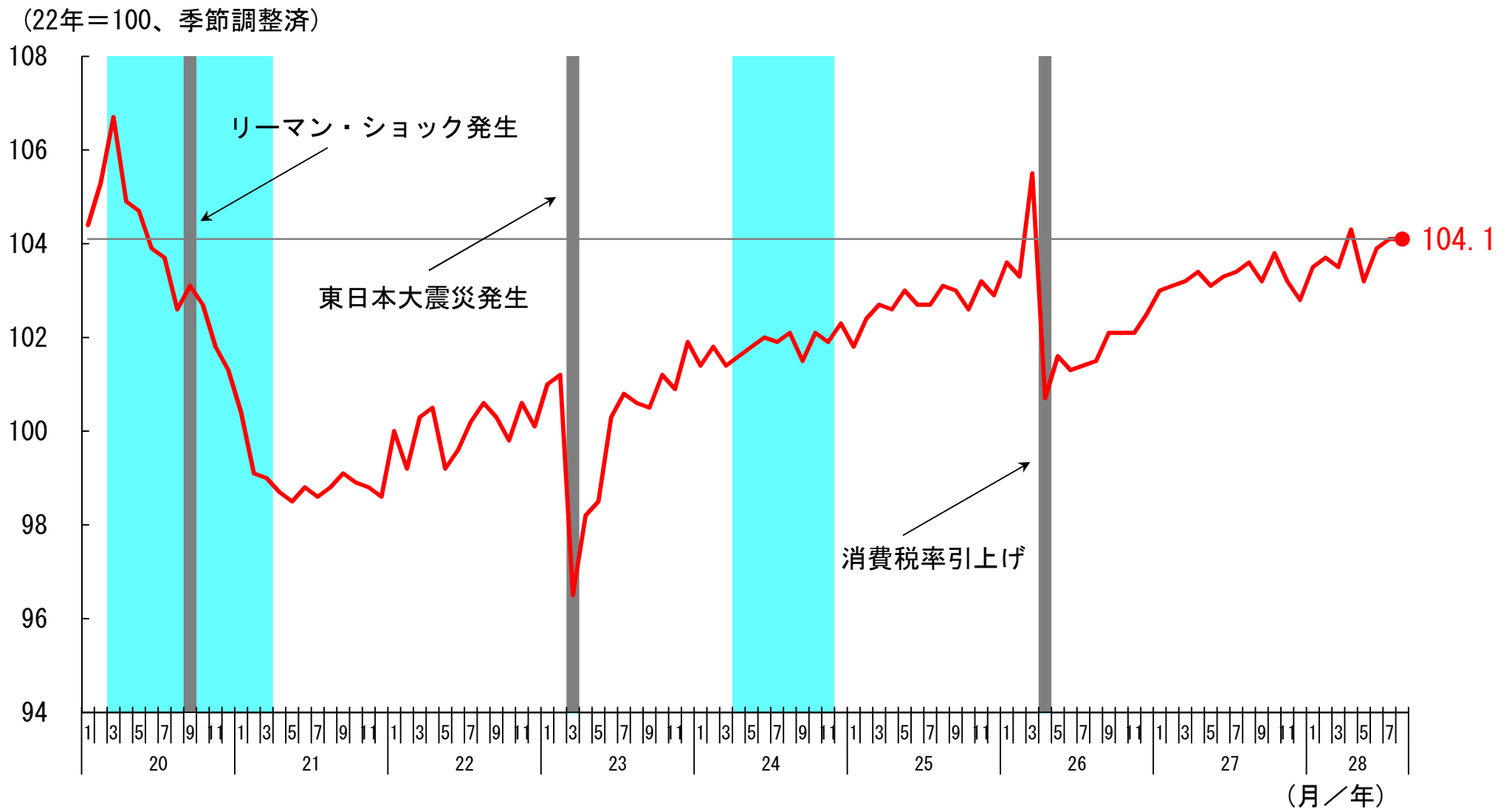
平成28年8月の第3次産業活動指数の状況

月次(平成28年8月分)	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	104.1	104.2	103.7
前月比	0.0%	▲ 0.1%	▲ 0.2%
指数水準	—	28年 5月 103.9以来 ① 23年 3月 94.5 ② 21年 3月 97.1 ③ 23年 4月 97.5	28年 6月 102.8以来 ① 23年 3月 97.9 ② 23年 5月 98.1 ③ 21年12月 98.5
前月比の動き	横ばい	2か月連続— (28年 7月以降)	3か月ぶり— (28年 5月以来)
前月比幅	—	28年 7月 ▲0.4%以来 ① 23年 3月 ▲6.4% ② 26年 4月 ▲4.7% ③ 24年 1月 ▲1.0% ③ 26年 2月 ▲1.0%	28年 5月 ▲1.6%以来 ① 26年 4月 ▲5.0% ② 23年 3月 ▲3.9% ③ 20年 4月 ▲2.5%
原指数 前年同月比	1.0%	▲ 0.7%	2.5%
前年同月比の動き	2か月ぶり+ (28年 6月以来)	5か月連続— (28年 4月以降)	17か月連続+ (27年 4月以降)
前年同月比幅	28年 2月 2.5%以来 I 24年 3月 4.7% II 24年 5月 4.0% III 24年 4月 3.3%	28年 5月 ▲0.8%以来 ① 23年 3月 ▲6.0% ② 23年 4月 ▲3.0% ③ 21年 2月 ▲2.9%	27年 8月 2.6%以来 I 24年 5月 4.1% II 26年 3月 3.3% III 27年 4月 3.1%

※ ▲はマイナス。I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数の動向

平成28年8月の第3次産業活動指数は、104.1(前月比0.0%)と横ばい。



平成28年8月 「第3次産業活動は一進一退」

基調判断の推移

- ・平成27年1月～4月
「持ち直している」
- ・平成27年5月～6月
「足踏みがみられる」
- ・平成27年7月～9月
「横ばい傾向」
- ・平成27年10月
「持ち直しの動きがみられる」
- ・平成27年11月
「一進一退」
- ・平成27年12月～28年3月
「一進一退ながら一部に弱さがみられる」
- ・平成28年4月～
「一進一退」

(27年1月より基調判断を実施)

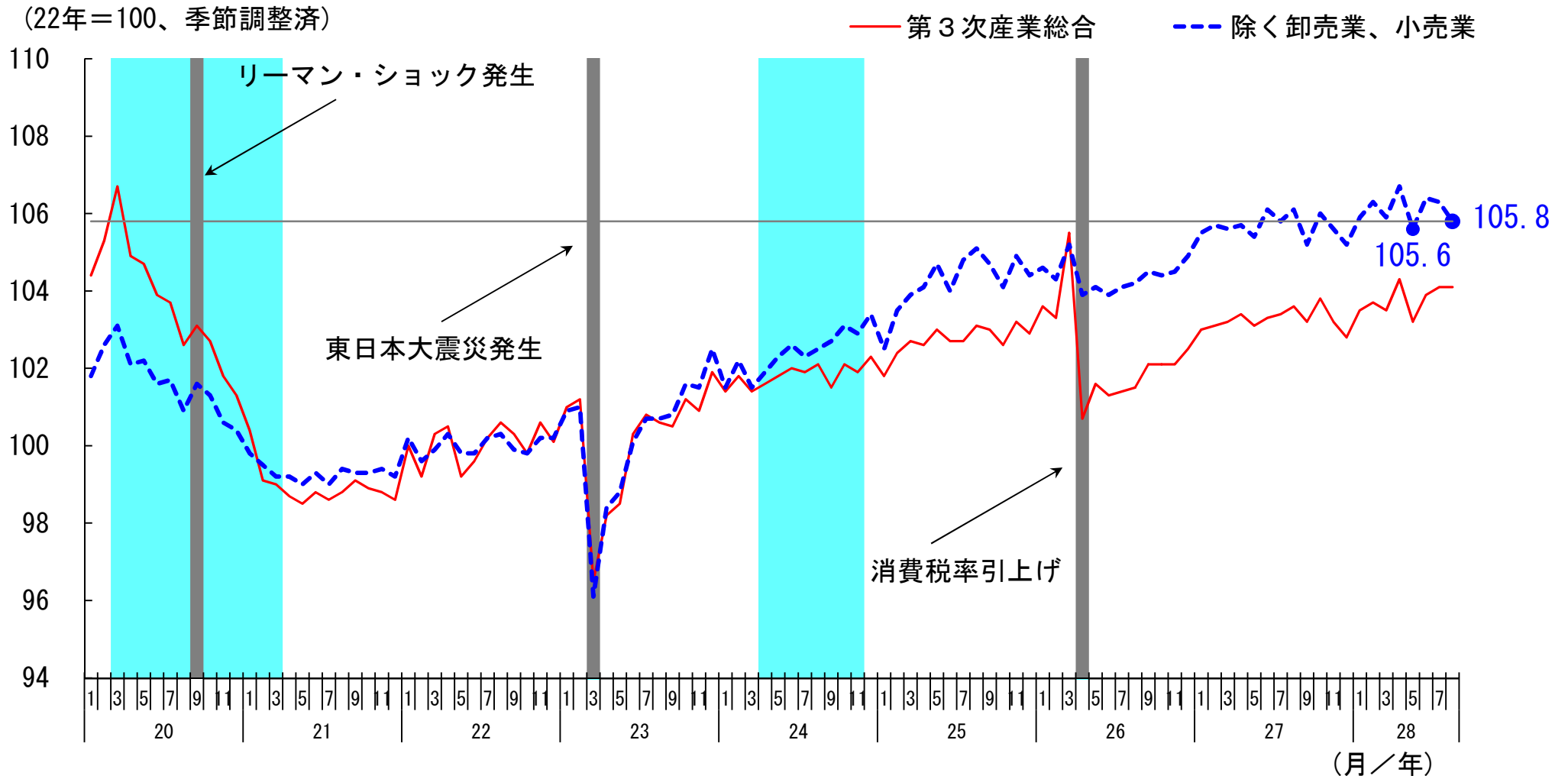
	第3次産業 総合	前期比(%)
26年	I期	104.1
	II期	▲ 2.8
	III期	101.7
	IV期	102.2
27年	I期	103.1
	II期	103.3
	III期	103.4
	IV期	▲ 0.1
28年	I期	103.6
	II期	103.8

(平成22年=100、季節調整済)

	第3次産業 総合	前期比(%)	後方3か月		
			移動平均	前期比(%)	
26年	1月	103.6	0.7	103.2	0.0
	2月	103.3	▲ 0.3	103.3	0.1
	3月	105.5	2.1	104.1	0.8
	4月	100.7	▲ 4.5	103.2	▲ 0.9
	5月	101.6	0.9	102.6	▲ 0.6
	6月	101.3	▲ 0.3	101.2	▲ 1.4
	7月	101.4	0.1	101.4	0.2
	8月	101.5	0.1	101.4	0.0
	9月	102.1	0.6	101.7	0.3
	10月	102.1	0.0	101.9	0.2
	11月	102.1	0.0	102.1	0.2
	12月	102.5	0.4	102.2	0.1
27年	1月	103.0	0.5	102.5	0.3
	2月	103.1	0.1	102.9	0.4
	3月	103.2	0.1	103.1	0.2
	4月	103.4	0.2	103.2	0.1
	5月	103.1	▲ 0.3	103.2	0.0
	6月	103.3	0.2	103.3	0.1
	7月	103.4	0.1	103.3	0.0
	8月	103.6	0.2	103.4	0.1
	9月	103.2	▲ 0.4	103.4	0.0
	10月	103.8	0.6	103.5	0.1
	11月	103.2	▲ 0.6	103.4	▲ 0.1
	12月	102.8	▲ 0.4	103.3	▲ 0.1
28年	1月	103.5	0.7	103.2	▲ 0.1
	2月	103.7	0.2	103.3	0.1
	3月	103.5	▲ 0.2	103.6	0.3
	4月	104.3	0.8	103.8	0.2
	5月	103.2	▲ 1.1	103.7	▲ 0.1
	6月	103.9	0.7	103.8	0.1
	7月	104.1	0.2	103.7	▲ 0.1
	8月	104.1	0.0	104.0	0.3

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

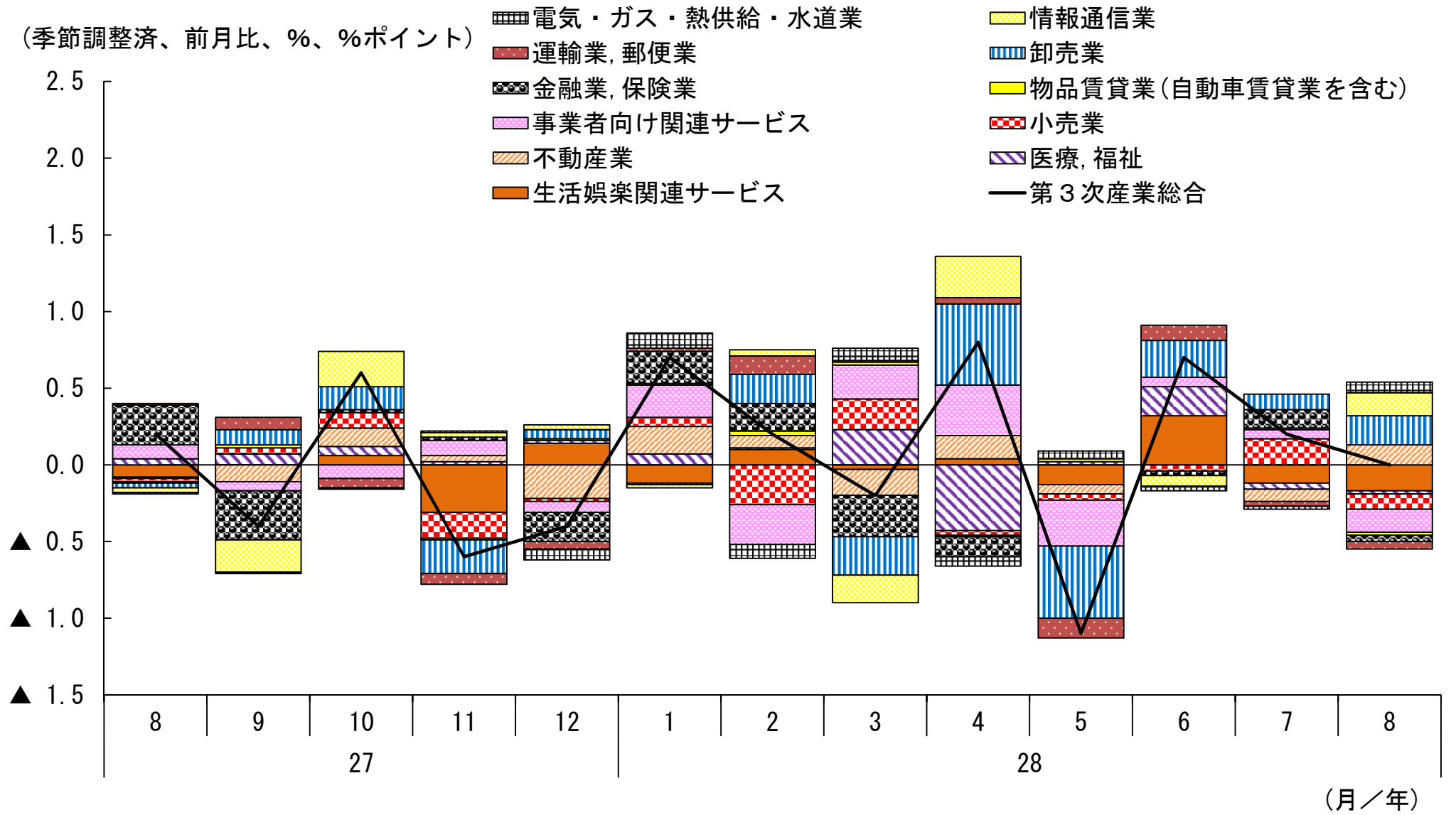
- ・平成28年8月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、105.8(前月比▲0.5%)と2か月連続の低下。
- ・平成28年5月の105.6以来の指数水準。



(注)水色のシャドー部分は景気後退局面。

第3次産業活動指数への業種別寄与度分解

平成28年8月の第3次産業活動指数は、生活娯楽関連サービスなどが低下し、卸売業などが上昇した結果、全体としては前月比0.0%の横ばい。

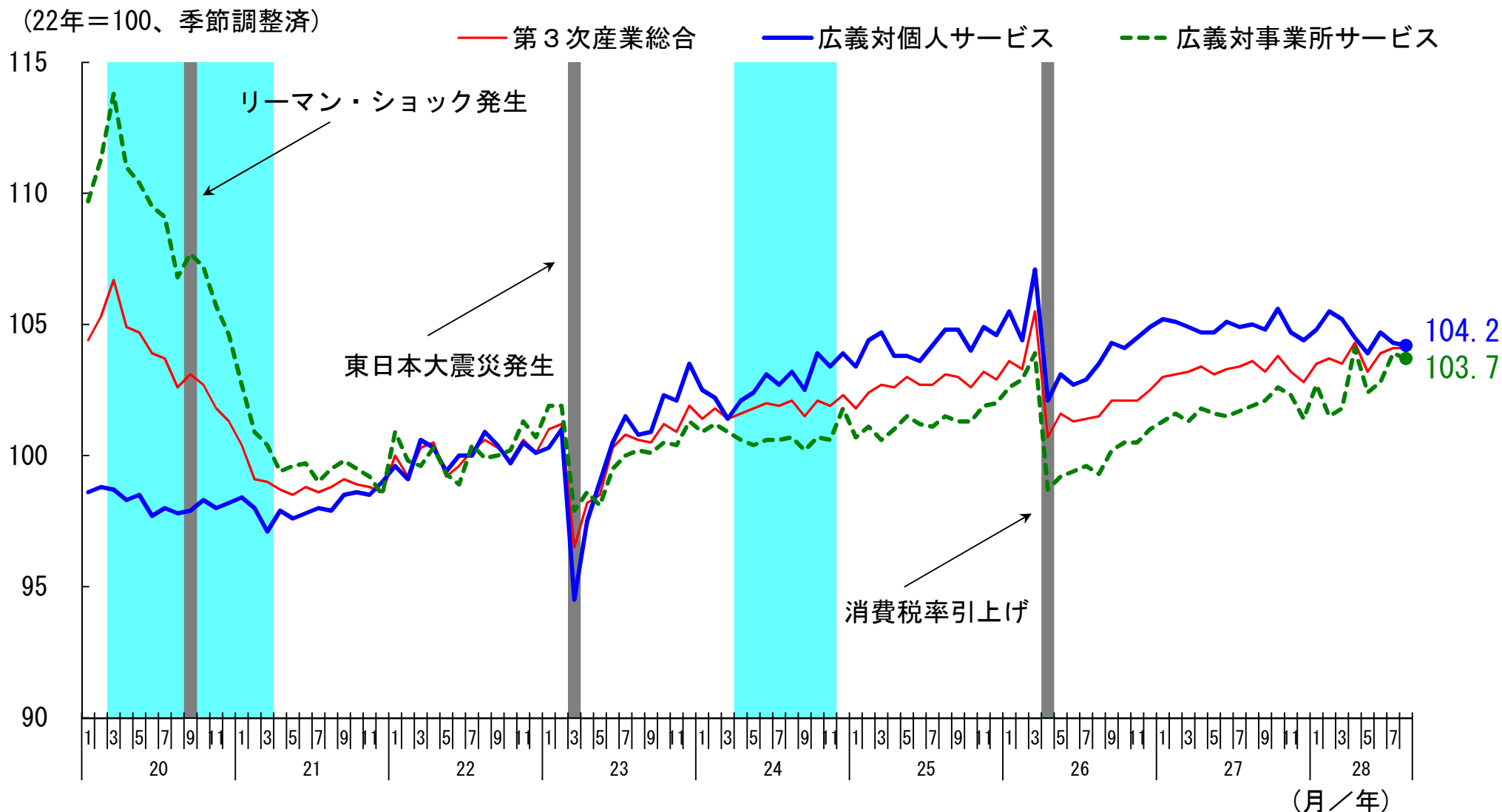


第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

		業種名	前月比	寄与度
○ 第3次産業総合を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	卸売業	1.4%	0.19%
	内訳業種	鉱物・金属材料卸売業	4.1%	0.09%
		その他の卸売業	1.9%	0.02%
	2位の業種	情報通信業	1.4%	0.15%
	内訳業種	ソフトウェア業	5.0%	0.13%
		情報処理・提供サービス業	2.6%	0.05%
3位の業種	不動産業	1.7%	0.13%	
内訳業種	マンション分譲業	25.9%	0.08%	
○ 第3次産業総合を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	生活娯楽関連サービス	▲ 1.5%	▲ 0.17%
	内訳業種	プロスポーツ(スポーツ系興行団)	▲ 17.6%	▲ 0.09%
		遊園地・テーマパーク	▲ 23.6%	▲ 0.04%
	2位の業種	事業者向け関連サービス	▲ 2.0%	▲ 0.15%
	内訳業種	土木・建築サービス業	▲ 15.7%	▲ 0.19%
	3位の業種	小売業	▲ 1.0%	▲ 0.10%
内訳業種	その他の小売業	▲ 2.2%	▲ 0.05%	
	飲食料品小売業	▲ 0.8%	▲ 0.02%	

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

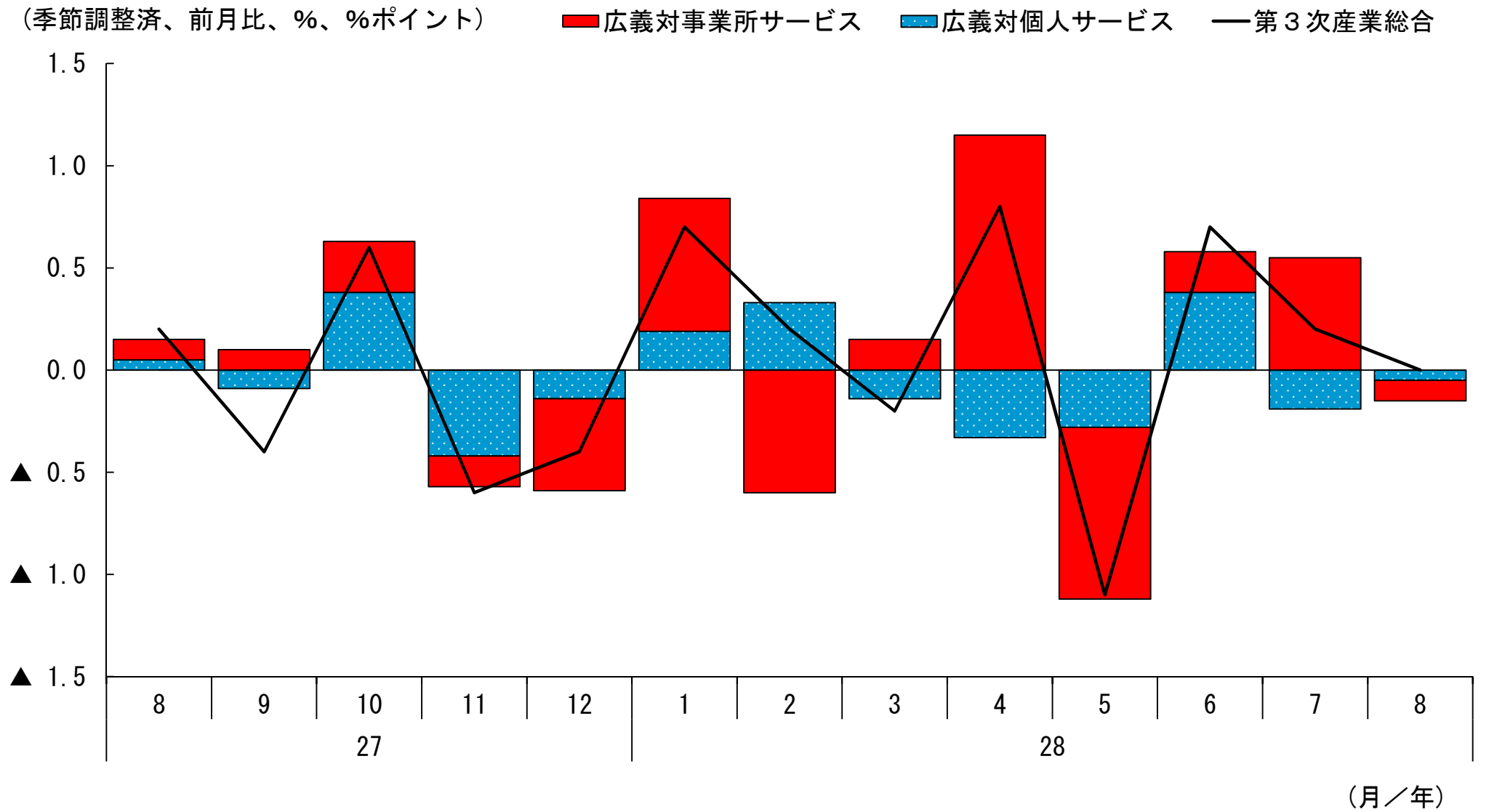
- ・ 平成28年8月の広義対個人サービス活動指数は、104.2(前月比▲0.1%)と2か月連続の低下。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、103.7(前月比▲0.2%)と3か月ぶりの低下。



(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動(全体への寄与度)の動向

平成28年8月は、広義対事業所サービス、広義対個人サービスともに小幅低下した。



内訳別にみた広義対個人サービス活動の動向

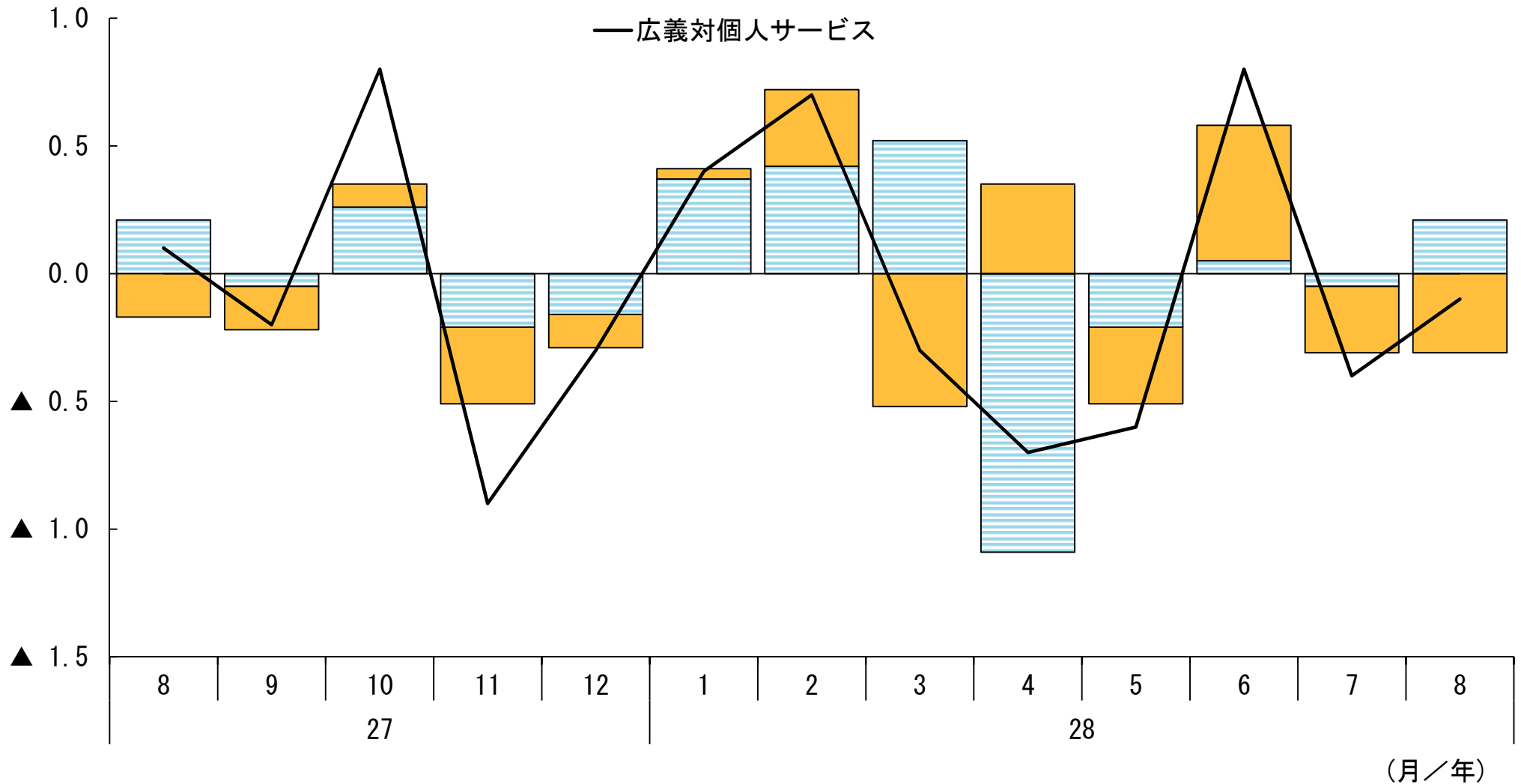
- 平成28年8月の広義対個人サービス活動指数は、広義非選択的個人向けサービスが上昇したものの、広義し好的個人向けサービスが低下したため、前月比▲0.1%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 広義し好的個人向けサービス

▨ 広義非選択的個人向けサービス

— 広義対個人サービス



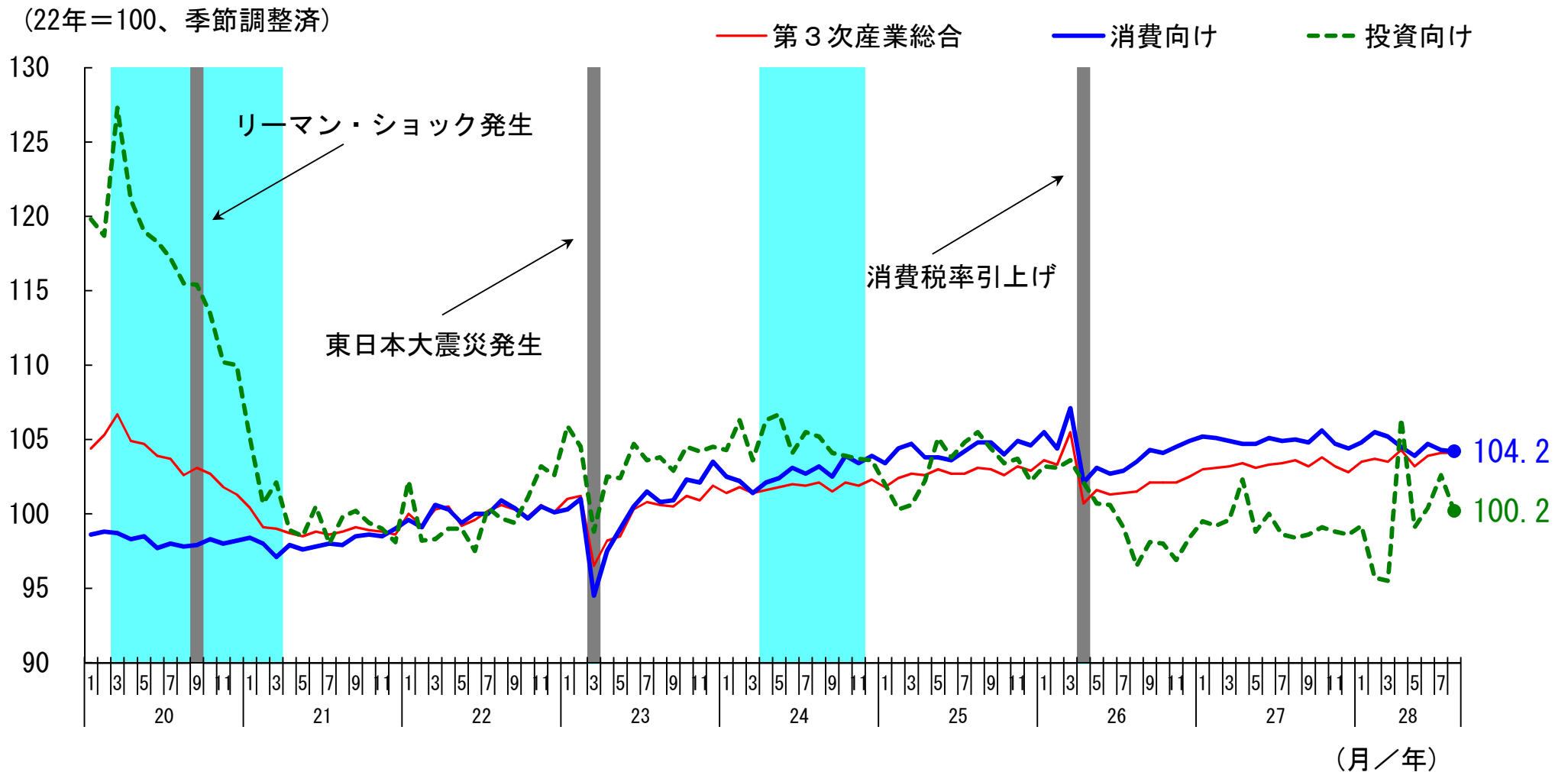
広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ引張った業種の中で低下への影響度が大きい内訳業種	建設コンサルタント	▲ 34.2%
	各種商品卸売業	▲ 3.7%
	全銀システム取扱高	▲ 2.4%
	一般貨物自動車運送業	▲ 1.3%
	流通業務	▲ 4.7%
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で上昇への影響度が大きい内訳業種	鉱物・金属材料卸売業	4.1%
	受注ソフトウェア	2.9%
	その他の情報処理・提供サービス業	3.7%
	食料・飲料卸売業	1.9%
	測量	28.4%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ引張った業種の中で低下への影響度が大きい内訳業種	プロスポーツ(スポーツ系興行団)	▲ 17.6%
	ホテル	▲ 8.5%
	その他の小売業	▲ 2.2%
	食堂, レストラン, 専門店	▲ 2.5%
	遊園地・テーマパーク	▲ 23.6%
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で上昇への影響度が大きい内訳業種	ゲームソフト	44.4%
	マンション分譲(首都圏)	20.6%
	美容業	7.8%
	結婚式場業	20.9%
	理容業	12.3%

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

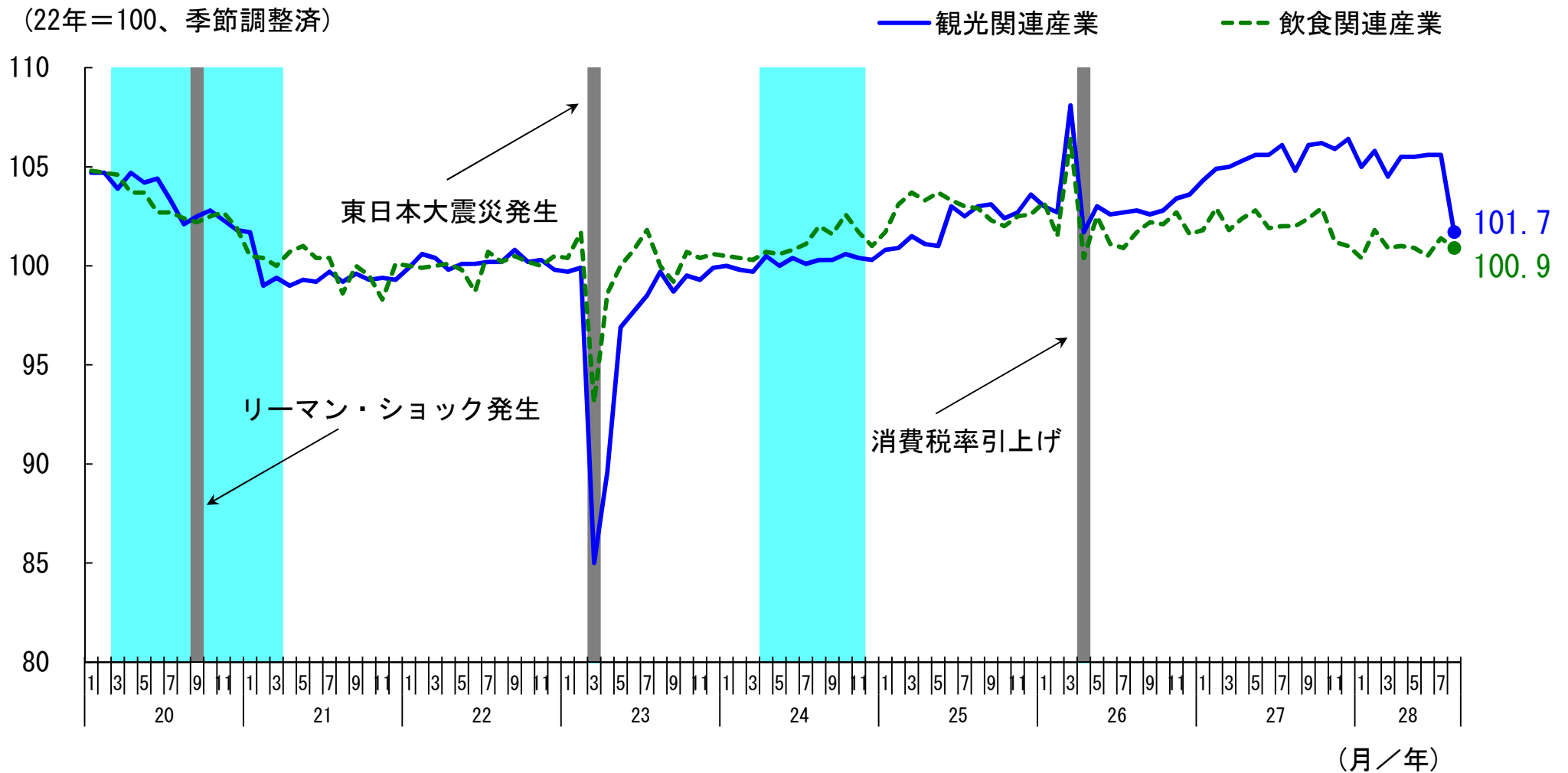
- ・平成28年8月の消費向けサービス活動指数は、104.2(前月比▲0.1%)と2か月連続の低下。
- ・投資向けサービス活動指数は、100.2(前月比▲2.3%)と3か月ぶりの低下。



(注) 1. 消費向けサービス活動指数は、非製造業から供給される個人消費関連のサービス(小売業や娯楽業など)の動きを表す系列。
 投資向けサービス活動指数は、非製造業から供給される民間企業設備関連のサービス(ソフトウェア開発、機械器具卸売業など)の動きを表す系列。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

- ・平成28年8月の観光関連産業活動指数は、101.7(前月比▲3.7%)と5か月ぶりの低下。
- ・飲食関連産業活動指数は、100.9(前月比▲0.5%)と2か月ぶりの低下。



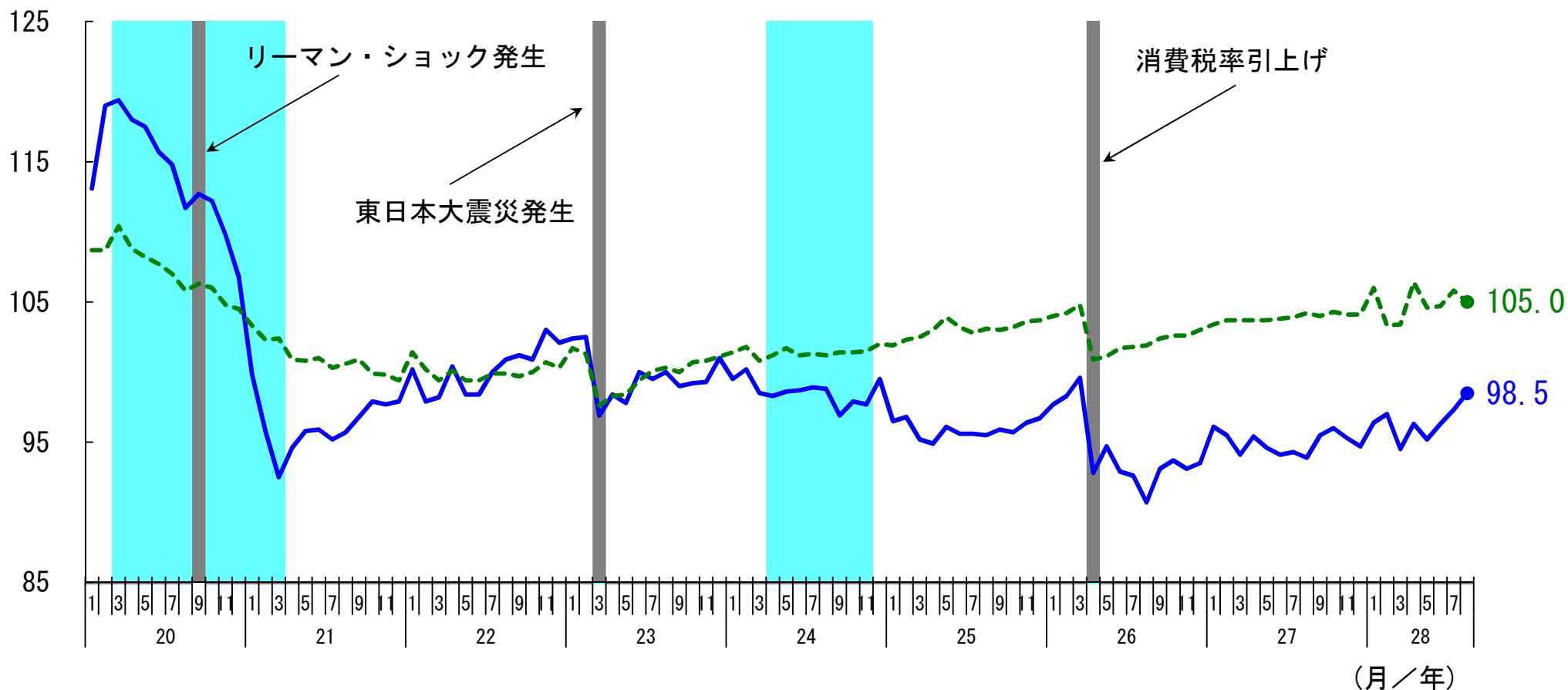
(注) 1. 観光関連産業活動指数には、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
飲食関連産業活動指数には、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

製造業／非製造業依存型事業所向けサービス活動指数の動向

- ・平成28年8月の製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、98.5(前月比1.2%)と3か月連続の上昇。
- ・非製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、105.0(前月比▲0.8%)と3か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)

— 製造業依存型事業所向けサービス - - - 非製造業依存型事業所向けサービス

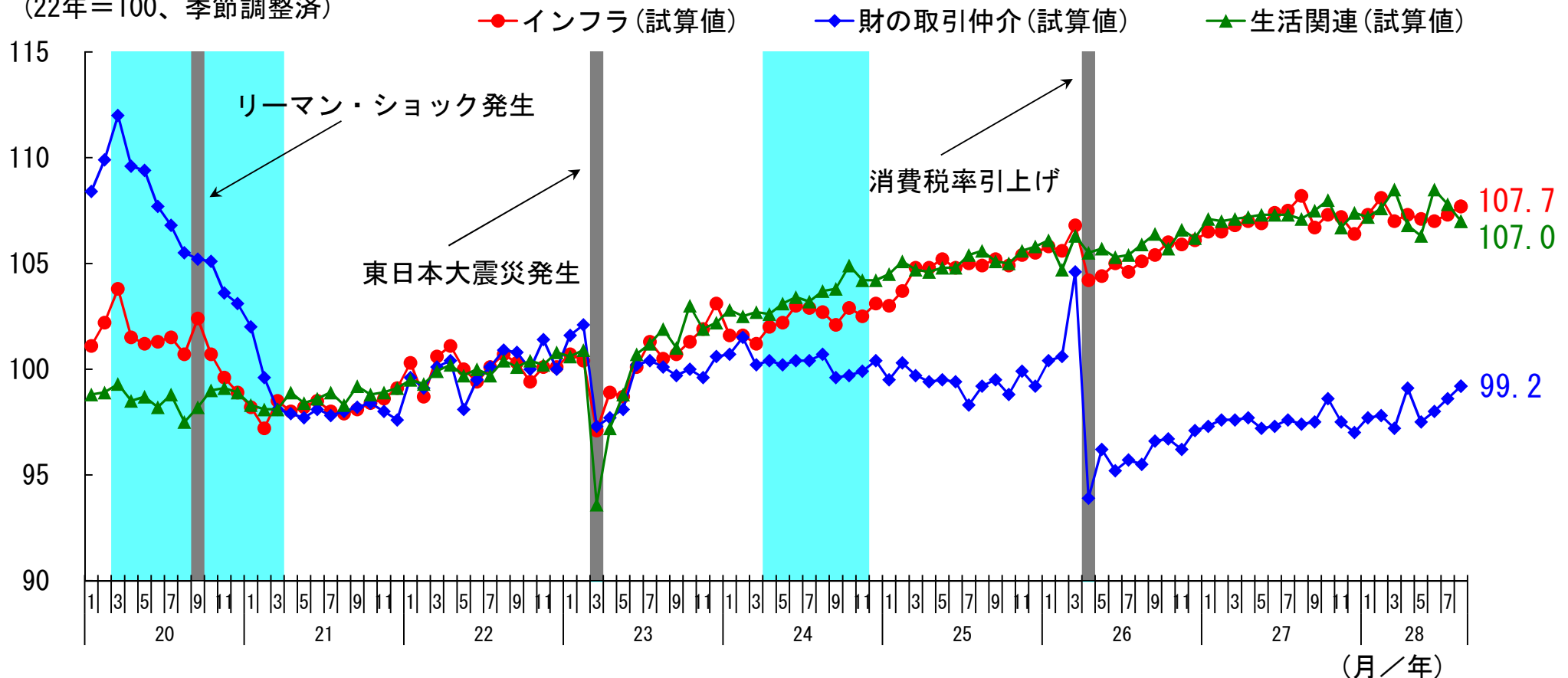


(注) 1. 広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・平成28年8月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、107.7(前月比0.4%)と2か月連続の上昇。
- ・財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、99.2(前月比0.6%)と3か月連続の上昇。
- ・生活関連型サービス活動指数(試算値)は、107.0(前月比▲0.7%)と2か月連続の低下。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含まれていない。

・インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業

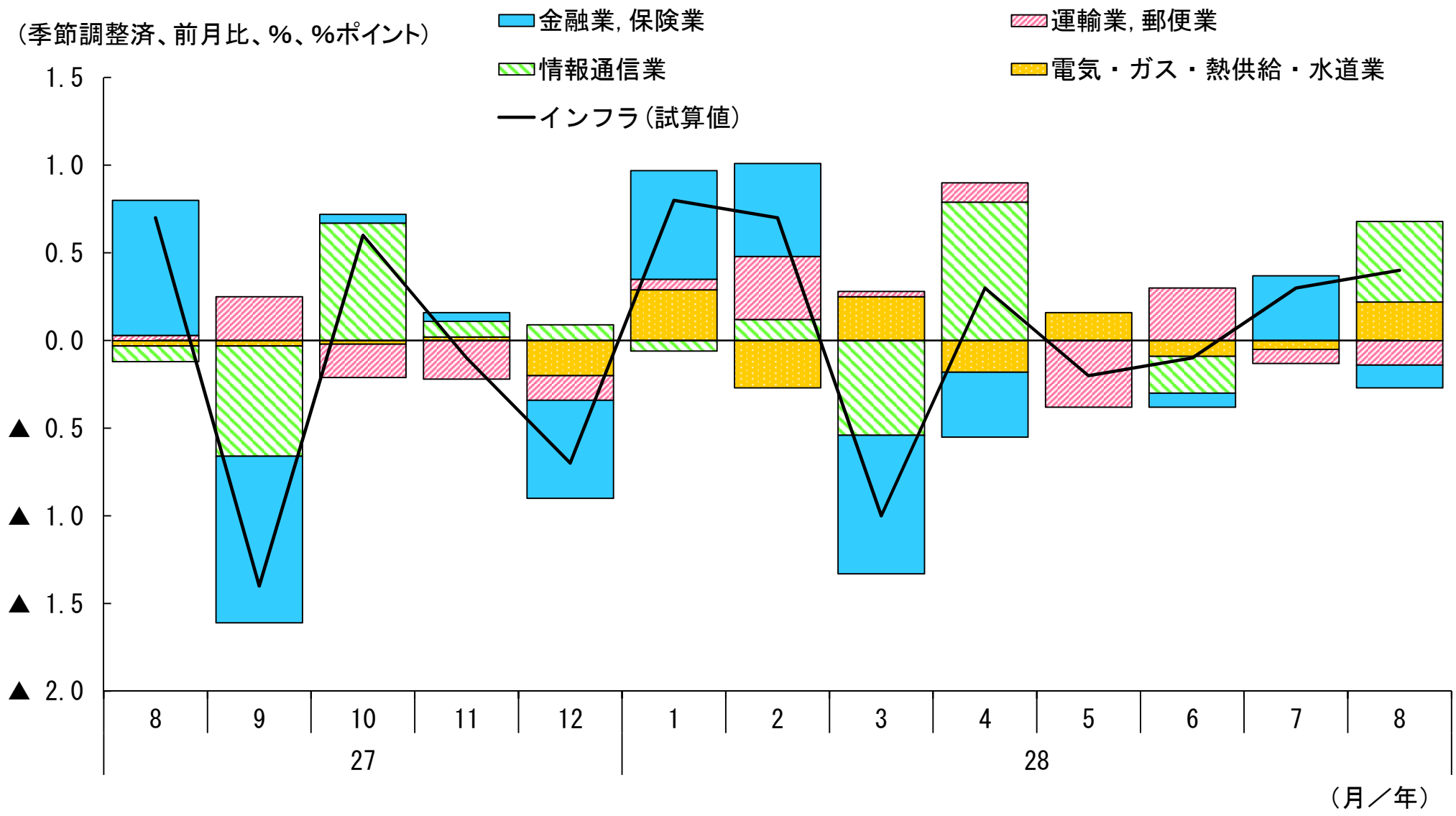
・財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業

・生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

インフラ型サービス活動指数(試算値)への業種別寄与度分解

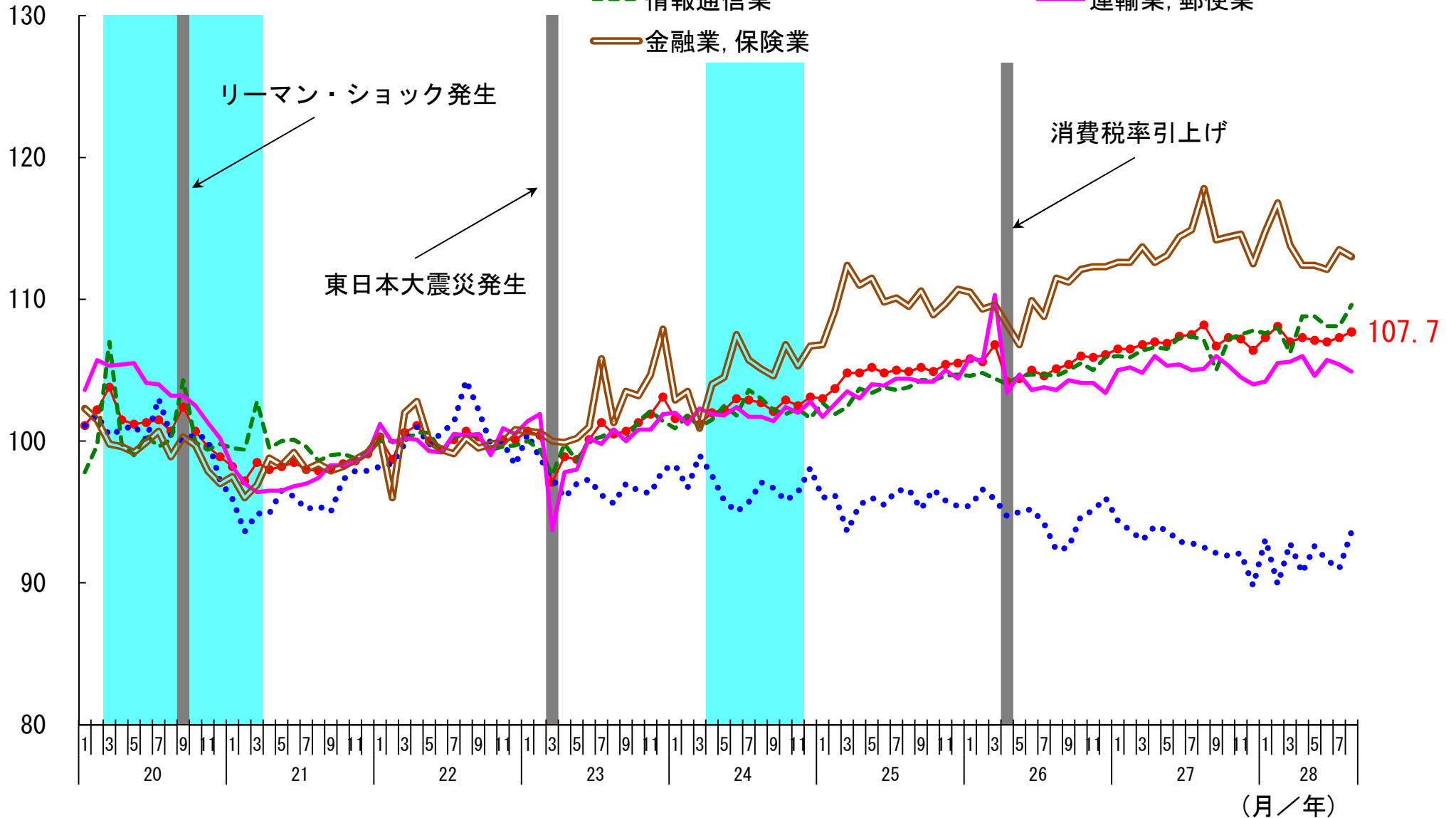
・平成28年8月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、運輸業、郵便業などが低下したものの、情報通信業などが上昇したため、前月比0.4%の上昇。



業種別に見たインフラ型サービス活動の動向

(22年=100、季節調整済)

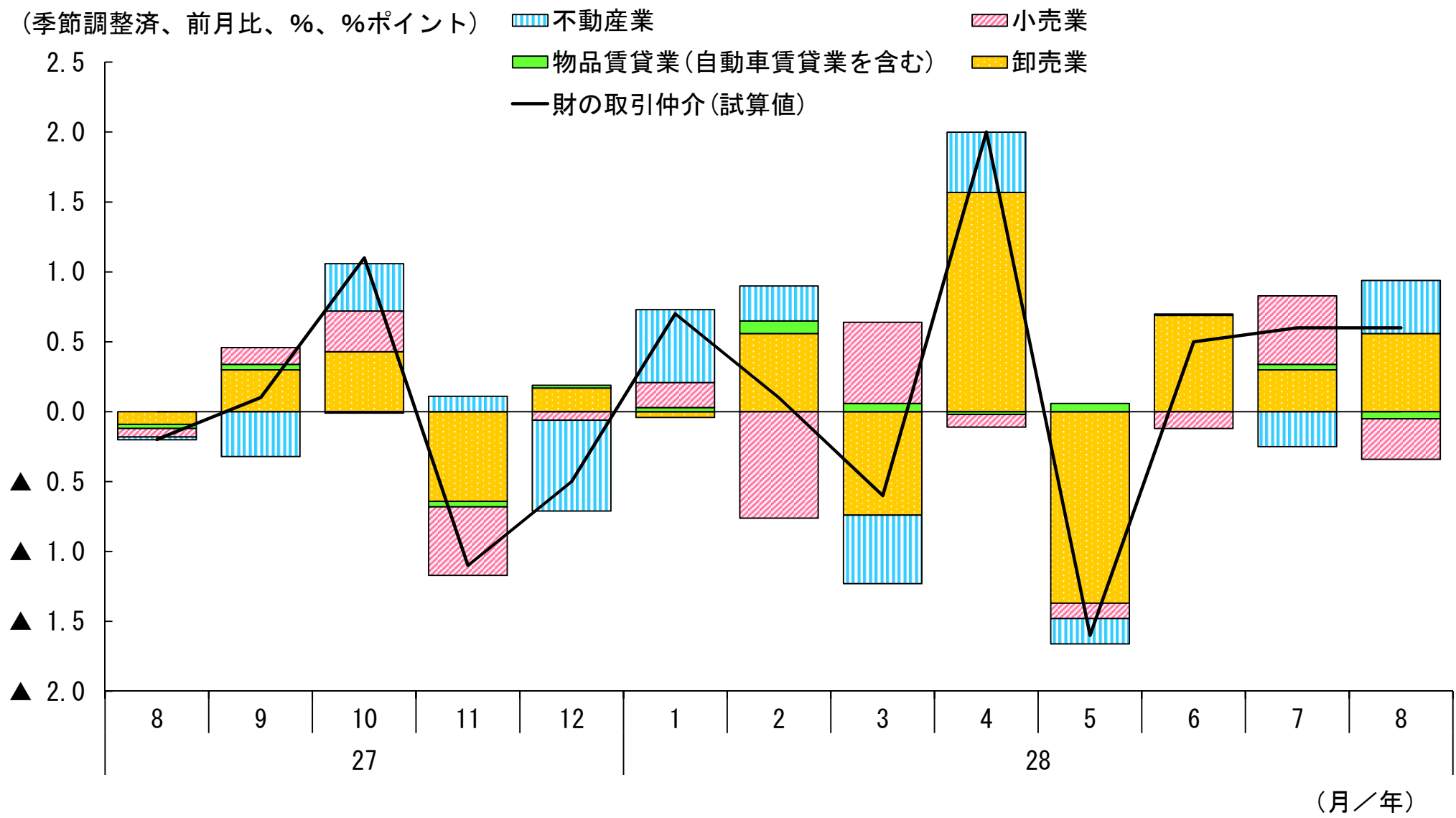
- インフラ (試算値)
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業, 郵便業
- 金融業, 保険業



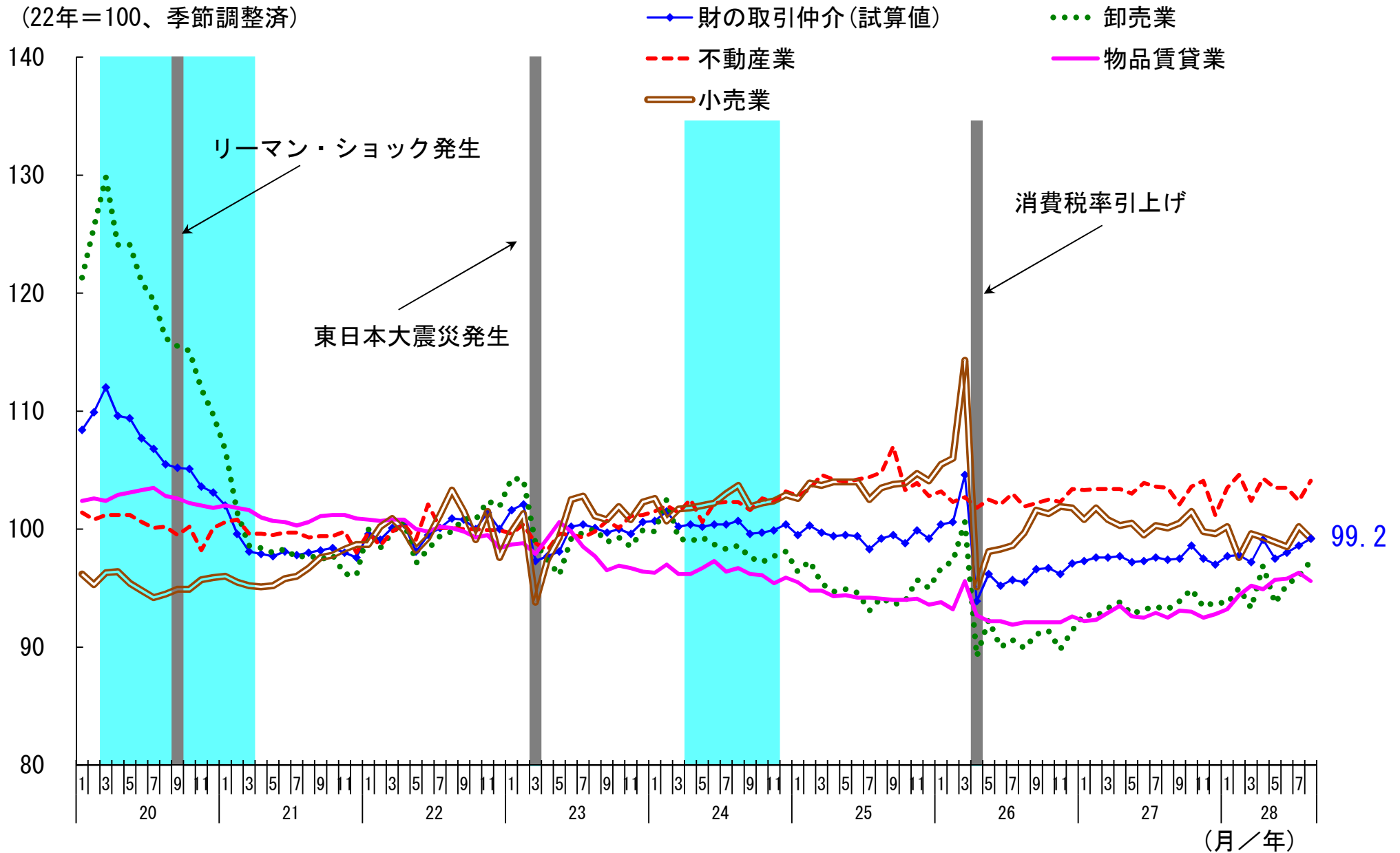
(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)への業種別寄与度分解

・平成28年8月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、小売業などが低下したものの、卸売業などが上昇したため、前月比0.6%の上昇。



業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向



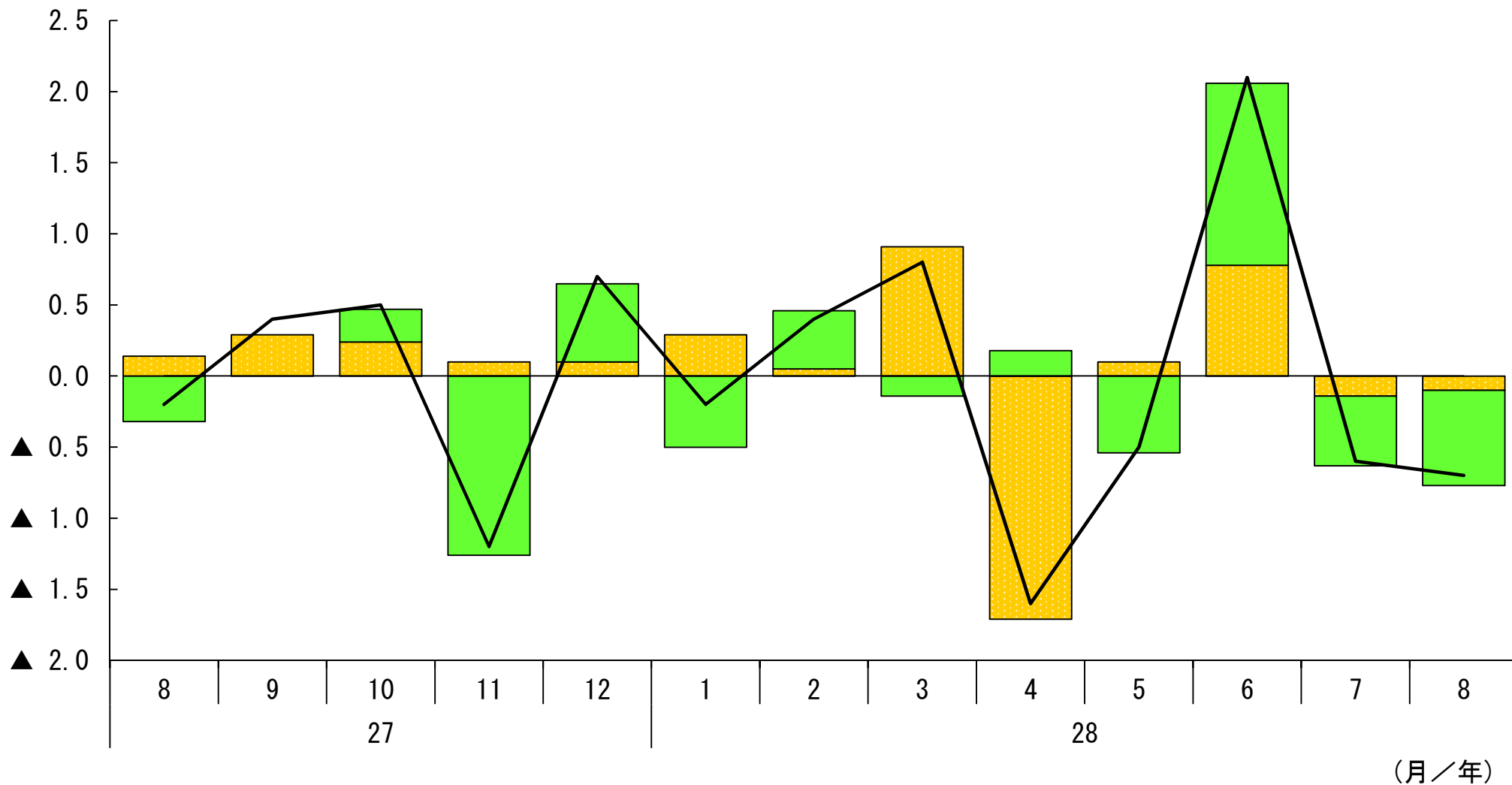
(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

生活関連型サービス活動指数(試算値)への業種別寄与度分解

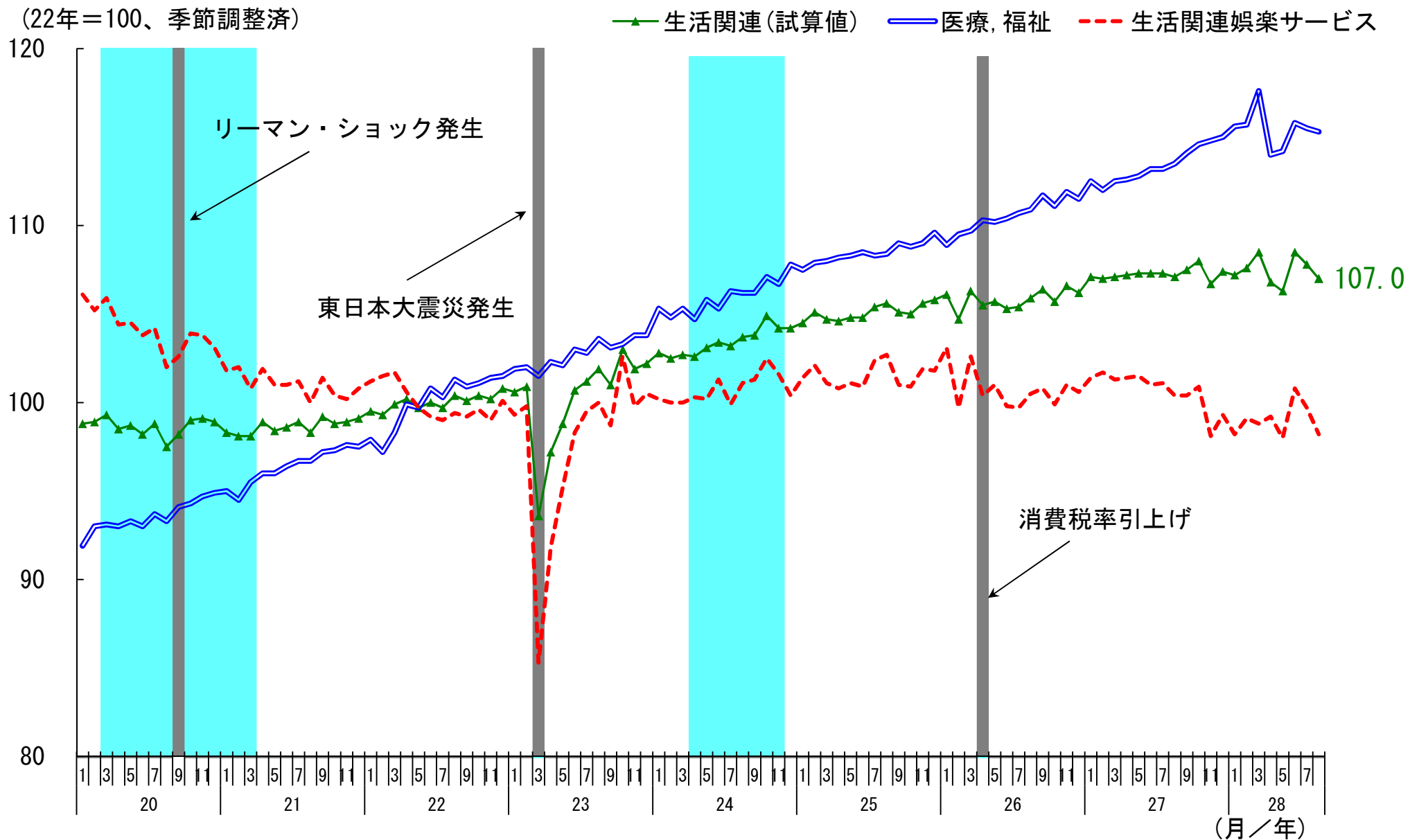
・平成28年8月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、生活娯楽関連サービスなどが低下したため、前月比▲0.7%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■生活娯楽関連サービス ■医療, 福祉 —生活関連(試算値)



業種別にみた生活関連型サービス活動の動向



(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。